

0120-026-999 FAX 0120-026-993 http://www.chunichi.co.jp/chuspo/



今年のシリーズパドックパスは、パドック

2010年シリーズパドックパス 販売のご案内

エリアはもちろん、決勝グリッドや公式合 同テスト、そして今年は、11月13日、14日 に行われるSUPER GT & Formula NIPPON FUJI SPRINT CUP 2010への入場も可能! その他にも、今シーズンからの特典として ピット見学ツアー(抽選で最大10名)や 優勝ドライバーへの花束贈呈、ドライバー サイン入りグッズなどをプレゼント! フォーミュラ・ニッポンが何倍も楽しめる お得なチケットとなっています!

70,000 円 (税込)

お問い合わせ spp@f-nippon.co.jp フォーミュラ・ニッポン公式サイト http://f-nippon.co.jp/_newsheadline/100315-3.html



〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25

編集制作:DOS co., ltd./JRPオフィシャルフォトグラファー:小林稔、大西靖、田村弥

Lap up Formula NIPPON!

Entertaiment



スクイーンを間近で見られるチャンス!大好評の ットウォークをお昼の時間帯に開催します。

参加料金:大人(中学生以上)2000円 子供無料

※前売ピットウォーク券が完売の場合は、当日ピットウォーク券の販売はございません。 ※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。

フォーミュラ・ニッポン解体ワークショップを開催!

フォーミュラ・ニッポンの車両をメカニックが分解&組み立てを行い見る事ができなかったFNマシン内部が明らかに!

場所:センターハウス2F

※参加対象者:パドックエリアに入場可能なパスをお持ちの方

Enjoy Honda SUZUKA2010

今年で開催10周年を迎えるEnjoy Hondaはイベントが盛りだくさん! 中でもHondaドライバーズは必見!決勝を前にした参戦ドライバーの本音が

開催時間:11:30~11:45

● レース終了後の表彰式をメインストレートから祝福しよう!

決勝レース終了後、グランドスタンド前のゲートを プンしメインストレートを開放!みんなで感動 の表彰式を体感しよう! 開催時間:決勝レース終了後

※メインストレートへのご入場は表彰式の準備が整って



● 優勝当てクイズに参加し、素敵なプレゼントをゲットしよう!

各決勝レースの優勝者を予想!正解された方の中から抽選で豪華プレゼントが当 応募用紙設置場所:GPエントランス(レース場入場ゲート)

2010フォーミュラ・ニッポン年間スケジュール

Rd.1	4/17,18	鈴鹿サーキット	Rd.5	9/25,26	スポーツランドSUGO
Rd.2	5/22,23	ツインリンクもてぎ	Rd.6	10/16,17	オートポリス
Rd.3	7/17,18	富士スピードウェイ	Rd.7	11/6,7	鈴鹿サーキット
D4 4	0/7.0	ツ / ハル・カナ アギ			

Information media

Find your Style



J SPORTSでは今年もFormula NIPPONを全戦放映をします。 ナーキットに来場できないファンに、レースの臨場感を

JSPORTS 「フォーミュラ・ニッポン2010 第1戦 決勝 鈴鹿サーキット」

4月18日(日) 13:30~16:30(初回放送/J sports 2) 4月18日(日) 22:30~25:00 (再/J sports 2) 4月19日 (月) 24:00~26:30 (再/J sports 1) 4月23日(金) 08:00~10:30 (再/J sports 1 この他放映日につきましては、JSPORTS公式HPをご覧下さい。 ※放送局・放送時間は変更になる場合があります。

4/25 (日) にBSフジにてフォーミュラ・ニッポンを放送!

BSフジ「番組名称未定」

4月25日(日) 16:30~17:25 5月01日(土) 13:30~14:25(再)

F-PROJECT

NTT docomoのフォーミュラ・ニッポン通信実験サイト。車載映像とテレメトリ データを配信します。 ◆番組ホームページ: http://www.fproject.tv



Motorsports Channel

ケータイでライブタイミングで走行中の全車両の順位、 ラップタイム、ピットインの情報をリアルタイムで チェック!レースをより面白くする情報満載です。

● フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイト

フォーミュラ・ニッポン公式モバイルサイトがついに始動! 公式情報はもちろん、モバイル版だけの会員専用コンテンツも充実!モバイル版サイトでFormula NIPPONをもっとも



2010 Formula NIPPON 総集編 絶賛発売中!

覚醒したフランスの若獅子が2009年を制す! 細心フォーミュラカーによる日本最高峰バトルを見逃す な!!新マシンをモノにしたNAKAJIMA RACINGの速さが際 だった2009年全8戦をダイジェストで収録。 好評発売中! 3.800円



2010 MFJ全日本ロードレースJSB1000

ノックアウト予選を秋吉耕佑(Honda)が制する!!



全車出走のQ1、Q1上位24台によるQ2、そしてQ2上 位12台によるQ3のセッションで争われるノックアウ ト予選。そのQ1で優勝候補の伊藤真一と亀谷長純 が転倒、伊藤は右肩を痛めてしまうという波乱の幕 開けとなった。一方、Q1、Q2、Q3の全セッションで トップタイムを記録した秋吉耕佑が堂々のポールポ ジション。2番手にはV2チャンピンオン中須賀克行、 3番手には開幕戦優勝の高橋巧が入り、熱い戦いに 向けた前哨戦が終了。そして14周で争われる決勝レ ースは、午前11時55分にスタートする。

JSE	31000	/J-GP2公式	予選正式結果	
Po.	No.	Driver	Team	Time
1	64	秋吉 耕佑	F. C. C. TSR Honda	2'07.656
2	1	中須賀 克行	YSPRacingTeamwithTRC	2'08.078
3	634	高橋 巧	MuSASHiRT/ ハレク・プロ	2'09.355
4	87	柳川明	TEAM GREEN	2'09.581
5	48	出口修	PLOT PANTHERA	2'09.943
6	54	武田雄一	TAIRA Racing	2'10.215
7	18	浜口 俊之	クラウン警備保障RACING	2'12.006
8	32	新庄 雅浩	MotoMap SUPPLY	2'12.495
9	52	森井 威綱	Honda鈴鹿レーシングチーム	2'12.513
10	51	高橋 英倫	BEET RACING	2'12.742
			王気:曇り/コース:ド	ライ / 走行: 45台

Support races qualifying result (top10)

全日本フォーミュラ3選手権 第2戦 決勝結果

Po.	No.	Driver	Team/Car	Time
1	1	国本 雄資	PETRONAS TEAM TOM'S F308	23'00'109
2	62	嵯峨 宏紀	DENSO Team Le Beausset F308	23'01.983
3 2		Alexandre IMPERATORI	TODA FIGHTEX	23'10.716
4	36	RAFAEL SUZUKI	PETRONAS TEAM TOM'S F308	23'11.625
5	12	関口 雄飛	ThreeBond Racing	23'20.288
6	5	吉田 広樹	MJ/ハナシマレーシング F308	23'22.861
7	8N	小林 崇志	HFDP RACING F307	23'24.671
8	63N	千代 勝正	BPኇ ፞ イシンLe Beausset F305	23'28.380
9	63N	三浦 和樹	HFDP RACING F307	23'31.708
10	23N	佐藤 公哉	NDDP EBBRO	23'36.134
	天気:晴れ/コース:ドライ/走行		イ/走行:17台	

ホンダエキサイティングカップワンメイクレース2010 〜シビック・インターシリーズ〜第2戦 予選結果

Po.	No.	Drive	r	Team/Car	Time
1	18	谷口	信輝	ジョージスピリッツ プロμ シビック	2'22.820
2	58	小林	康一	カーズ東海 ATSワコーズ μ☆RCBwithKRPG山口 FD2	2'23.116
3	86	水越	真一	NUTEC エンドレス CIVIC	2'23.247
4	57	後藤	比東至	SEV· MART· ENDLESS· CIVIC	2'23.394
5	4	太田	侑弥	BRIDE · IDI · PETRONAS · FD2	2'23.496
6	13	トモス	アキ	DIXCEL・カーズ東海SSR・MTEX	2'23.555
7	1	松井	隆幸	無限 CIVIC SSR TEIN ATS ENDLESS Cars東海	2'23.718
8	27	高島	登	エムテックス制動屋SSRカーズ東海	2'23.823
9	72	谷口	行規	ジョージスピリッツ プロ μ シビック	2'24.207
10	16	北野	浩正	サージェント・ WM・ EUROオイル・ ingsシピック	2'24.397
天気:晴れ/コース:ドライ/走行:17台					

二度咲きを期する名門。 ルーキーはその才能を開花させるか サーキットを舞台に咲き乱れる戦いの華は、最速の称号を懸けて物語を紡ぎだす。 フォーミュラ・ニッポン、百「華」繚乱。 それは、八ヶ月間に及ぶ「華」の宴。

QUALIFYING THE RESIDENCE OF THE PROPERTY OF T

2010全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第1戦 2010年4月18日(日)鈴鹿サーキット

発行人/編集人: 株式会社日本レースプロモーション 〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

で自由にお取り下さい Take Free

Series Partner HONDA

TOYOTA

人 人 気 酒 造

http://f-nippon.co.jp/

Formula

Round



春めいた陽射しが降り注いだ4月17日(土)、2010年の全日本選 手権フォーミュラ・ニッポン開幕戦は、いよいよ鈴鹿サーキットで 公式予選の時を迎えた。10台のマシンが従来のコースレコード (1'40.510)を更新するという激戦となった予選。その中で今年 最初のポールポジションを獲得したのは、テストから好調だった No.31小暮卓史(NAKAJIMA RACING)。2番手にはNo.19 J.P. デ・オリベイラ(Mobil 1 TEAM IMPUL)、3番手にはNo.36アンド レ・ロッテラー(PETRONAS TEAM TOM'S)と続いた。

予選はノックアウト方式。午後1時30分から、20分間のQ1が開始 された。ここでは3台のマシンが脱落する。セッションが開始されると 、間もなく全車、ユーズドタイヤを履いてコースイン。ここで、ユー ズドながら1分39秒713を叩き出したのが小暮だった。一方、その 他のドライバーは残り時間が8分を切ったあたりからニュータイヤ を装着してコースイン。ここで、小暮を上回ってきたのが、ロッテ ラーと石浦宏明(Team LeMans)の2人。また僅差で続いたのが、





オリベイラとNo.10塚越広大(HFDP RACING)、デュバル。ここま でがQ1で1分39秒台に突入している。脱落したのはルーキーのNo.7 ケイ・コッツォリーノ(Team LeMans)とNo.29井口卓人(DELIZIEFOLLIE / CERUMO·INGING)、復帰組のNo.18平中克幸(KCMG)の3人だった。

Q3に進出できる。 開始直後、石浦がフロントタイヤだけをスクラブ するために、コースイン。1周しピットに戻る。その後、開始から3 分余りというところで、全車次々にニュータイヤを装着してピット アウト。タイヤのウォームアップに2周掛かる状況だったため、3周 目にフルアタックに入った。ここでトップタイムを叩き出したのが、 ロッテラー。塚越、石浦がこれに続き、小暮は4番手。ここで脱落し たのが、No.20平手晃平(Mobil 1 TEAM IMPUL)、No.37大嶋和也 (PETRONAS TOM'S)、№16井出有治(MOTUL無限)だった。

終了後、石浦が車検不合格に

さらに10分後、Q3が開始。真っ先に小暮が動く。これを見て、全車

ほぼ同時にピットアウト。最後のタイムアタックへと向かった。こ こでも各ドライバーは、2周タイヤを温めてからフルアタック。ここ で圧倒するタイムを叩き出したのが小暮だった。小暮は1分38秒 917と、唯一、1分38秒台に突入した。一方ロッテラーもこれに迫 るアタックを行っていたが、No.31山本尚貴(NAKAJIMA RACING) に引っ掛かる形となり、タイムを伸ばせず。2番手には石浦がつけ た。また塚越が駆動系トラブルのためバックストレートでストップ。 デュバルは最終コーナーでバランスを崩し、クラッシュしてしまった 。そして赤旗中断のまま予選は終了。ポールポジションは小暮の手 に渡った。以下、石浦、オリベイラ、ロッテラー、No.2伊沢拓也 (DOCOMO TEAM DANDELION RACING)、山本、塚越、デュバル と続くことになったが、セッション後の再車検で石浦のマシンが 「スキッドブロック最低厚み規定不適合」(2010国内競技車輌規則 13章2条2. 13. 1) d)違反)のために、不合格となった。石浦は訓戒 **処分を受け、レースではピットスタートとなる**













The final race of the 2009 series! Lots of highlights won't allow you even to blink.

ついに来た最終決戦! 今季最後の勝者は!? 最強新人は!? 難コースSUGOで何かが起こる!!







Qualify 1: 1'41.276







タイムスケジュール(決勝日) 8:45 >> 9:15 Formula NIPPON フリー走行 F3 選手権 第2戦 決勝(17周) 10:45 >> 11:15 ピットウォーク JSB1000&J-GP2 決勝レース (14周) 11:55 13:45 Formula NIPPON 第1戦決勝(37周)

Pit Assignment

15:50

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 4

CIVIC 決勝レース(12周)

フロントロウの二人に注目

■予選日:2010年4月17日(土) ■天候:晴れ ■路面:ドライ ■予選通過:1'46.252:Q1/107%

※No.1 Q1セッションでの走路外走行(シケイン) 時の当該ラップタイム(139.997) 削除。(2010年全日本選手権フォーミュラニッポン統一規則 第28条1による) ※No.8 訓戒及びピットスタートとする。但し、規定のスキッドブロックを装着し、車検を受けること。(2010年国内競技車両規則 13章2条2.13.1)d)違反による)

● Round 1 SUZUKA Race Preview - 第1戦予選レースの見どころ -

Qualify 1: 1'41.596

Qualify 2: ---Qualify 3: ---

※'R'はコースレコード更新。 従来レコードは1'39.073

いは激しさの一途を辿ってきた。その戦いの 歴史の中、TEAM IMPULは2003年からチー

昨日の予選では、シーズン前のテストから トップを争っていたドライバーたちが予想通 りに上位進出を果たした。中でも、ポールポ ジションを獲得した小暮卓史と、フロントロ ウに並ぶことになったJ.P.デ・オリベイラの対 決は、今日のレースで最大の見所のひとつと なるだろう。彼らが所属するのはそれぞれ、 中嶋悟監督が率いるNAKAJIMA RACINGと 星野一義監督が率いるTEAM IMPULだから だ。1980年代、両監督が現役ドライバーだ った頃には、全日本F2で火花を散らしていた が、ともにチームを立ち上げてからもその戦

ムタイトル6連覇。その間に、本山哲、ブノワ ・トレルイエ、松田次生と3人のチャンピオン ドライバーを生み、最強チームの名を欲しい ままにしてきた。臍を噛むような思いで、それ を見てきたのがNAKAJIMARACING。01年、 高木虎之介が圧倒的な勝率でタイトルを獲 得して以来数年間、タイトルから遠ざかって いたからだ。そんなNAKAJIMA RACINGが、 去年はTEAM IMPULを一蹴。 ほとんどのレー スを制してドライバーズタイトルとチームタ



イトルの2冠を獲得し、溜飲を下げた。もち ろん、これに対して、TEAM IMPULはリベン ジを誓っている。

そんな意地と意地とのぶつかり合いが、今 日のレースのスタートでは、絶頂に達するは ず。まずはその興奮を味わって欲しい。



ホントに嬉しいです

ホントに嬉しいです。Q1は、ユーズドタイヤしか使っていないの にあのタイムが出たので、何とかトップに行けるかなと思ったん ですけど、Q2では全然アンドレとか石浦くんに届かなくて。だか ら、Q3では覚悟を決めて、攻めるだけ攻めるしかないと思ってい ました。そしたらタイムが出たので、ホッとしましたね。本当にチ

優位性は高い。落ち着いてレースしていきたいと思っています。

ームのおかげだと思います。Q2では自分の思うようなタイミング でタイヤを温められず、間合いを取るためにシケインでゆっくり走 らざるを得ない状況でした。だから、Q3はクリアな状況で走りた いと思っていました。レースは220kmと短く、ポールポジションの



う。決勝でも安定したタイムを刻めると思っているよ。



ロケットスタートできるように頑張るよ

Q3では山本が僕の前にいて追いついてしまい、大きくタイムロスし てしまった。クルマはすごく良かったんだけどね。ずっとトップだっ たのに、最終的に3番手で終わったことには、もちろんガッカリして いるよ。でも、今日のうちにそんなことは忘れて、明日のレースに集 中したい。ロケットスタートできるように頑張るよ。



このポジションは不甲斐ない

朝一があまり調子良くなくて、予選を進めていくうちに徐々にペース が良くなった感じです。良かったオフのイメージに合わせたかったん ですけど……。それにしてもこのポジションは不甲斐ない。毎年良か った開幕戦の予選ですが今年は悪かったので、明日の決勝はスター トでうまく順位を上げて、しっかり上位に食い込みたいと思います。



ワクワクと緊張の初予選

初の予選は、ワクワクもしましたが緊張もしました。Q1は中古タイ ヤで通ると思っていたのですが、走りをまとめることができずニュー を投入することに。Q2もギリギリでしたが、Q3まで残れてひとまず ホッとしています。チームのみなさんに感謝ですね。明日は一つでも 上のポジションに行けるよう、思い切り走りたいと思います。



ルーキーたちの緒戦 山本尚貴が唯一Q3進出

今年のフォーミュラ・ニッポンには、フレ ッシュな顔ぶれが例年以上に多い。チーム としては、新たに参戦を開始したのが、 MOTUL TEAM無限と、KCMG。MOTUL TEAM無限は、エンジンチューナーとして も名を馳せるM-TECの自社チームで、1年 ぶりにシリーズに復帰した井出有治を擁し て戦う。一方KCMGは、香港人オーナーの イップ・クゥン・チン氏と日本のチーム・ dtmがジョイントして立ち上げた新チーム。

こちらも、1年半のブランクを経て復帰し た平中克幸を起用し、戦うことになった。

一方、今年もルーキードライバー3人が 国内高峰のこのクラスにステップアップ。 昨年、全日本F3チャンピオンクラスで最後 までタイトルを争った井口卓人は、 DELIZIEFOLLIE /CERUMO·INGINGから、 同4位のケイ・コッツォリーノは、オーディ ションを勝ち抜いて、Team LeMansか。 そして、昨年チャンピオンタイトルを獲得

した後、移籍したロイック・デュバルの後 継者として、昨年全日本F3ナショナル クラスを制した山本尚貴が、NAKAJIMA RACINGからデビューした。昨日の予選で は、トップチーム&ドライバーを相手に、 新チーム、ルーキーたちが苦戦する中、 山本は見事Q3に進出。明日のレースでも、 ベテラン相手に好レースを見せるのか、 期待される。